



令和7年度 第13号

今学期のご協力に感謝いたします

本日で令和7(2025)年度の1学期が終わります。4月9日(水)の始業式(小中各1年生は4月10日(木)の入学式)に始まり、実に授業日数は67(66)日間でした。

この1学期には修学旅行やサマースクールなどの宿泊行事が多くありました。子供たちはそれらの体験を通し、教室では得られない様々な「学び」を加えて、クラスメイトとの親密な時間を過ごすことにより、相互理解が進み、貴重な思い出づくりにもなりました。価値ある1学期間でした。

《授業のひとこま》 《5年生・体育》

5年生の体育では「タグラクビー」に取り組んでいました。タグラクビー自体については「学校だより 第7号」で紹介しましたので説明はしませんが、この授業にはラグビーの専門家をゲストティーチャーにお招きしました。とは言うものの、その専門家は毎日学校で顔を合わせている人です。「誰?」と質問されそうですが、実は補習校の校長先生です。授業を観察していると、校長先生が指導に使っているホイッスルは「花園」で使われているのと同じ音でした。やはり専門家です。そしてもちろん指導内容も専門家でした。



《中2・理科》

中2の理科では、先生が実験をしました。「テルミット反応」(酸化還元反応)の実験だそうで、反応時には非常な高熱を発生することから、安全に考慮して校舎外で行いました。実験の結果、鉄の塊が見事に生成できました。(反応自体の写真は残念ながら撮れませんでした。光っているのは導火線の炎です。)



《中学部・総合的な学習「進路を考える集会」》

中学部の「進路を考える集会」は、7月10日(木)で2度目となりました。今回、講師を担当していただいたのは、医師と報道(NHKの支局長様)のお二人でした。お医者様は本校の保護者でもあり、文武両道(医学とバスケットボール)の学生時代のお話が印象的でした。医師という職業に興味をもっているのか、多くの生徒たちが集会後に質問の列を作っていました。また、もうお一方の支局長様は、NHK和歌山放送局勤務時代に起きた「紀伊半島大水害(2011年)」や、今も続くウクライナ侵攻についての取材のお話し

をいただきました。被災者のインタビューがその方の安否確認に役立ったことを、嬉しかったエピソードとして教えていただきました。



《 土曜授業参観への参加、 ありがとうございました 》

7月12日(土)の授業参観には、たくさんの保護者の皆さんが来校されました。本当にありがとうございます。子供たちに少しの緊張感があったことと、先生たちの日頃のジャージがYシャツに替わっていたことを除けば、いつもの授業風景を見ていただけたのではないかと思います。

《 昼食のひとこま 》

この「学校だより」では、お昼にお弁当を食べている様子をお伝えすることがありませんでしたので、1学期最後になりましたが今回お伝えします。写真は5年A組とB組の様子です。空いている席もありますが、これはお昼の放送を担当している人などの机です。お家で作ってもらった美味しいお弁当を食べながら、お昼の放送が流れています。クイズあり、リクエスト曲あり、そして放送の最後には、担当の放送委員とのジャンケン(音声)があります。みんな毎日楽しみにしているし、負けるととっても悔しがります。



《 手をかけて大きく育つ 》

各クラスの花壇で育てている植物たちが、見事に成長してきました。中には、それはそれは立派な実を付けたズッキーニもありました。子供たちが毎朝欠かさずに水やりをしたことで、このようにすくすくと成長したのに間違いはないと思います。手をかけて育てることで立派に成長することは、人も植物も同じです。子供たちにはこの「育てる喜び」に気づいてほしいです。そして「人の喜びも自分の喜びになるんだ」と思える人になってほしいと願っています。

